資料１

【議題１】

第８期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の取組実績について（報告事項）

Ⅰ　計画の概要

１　計画の位置付け

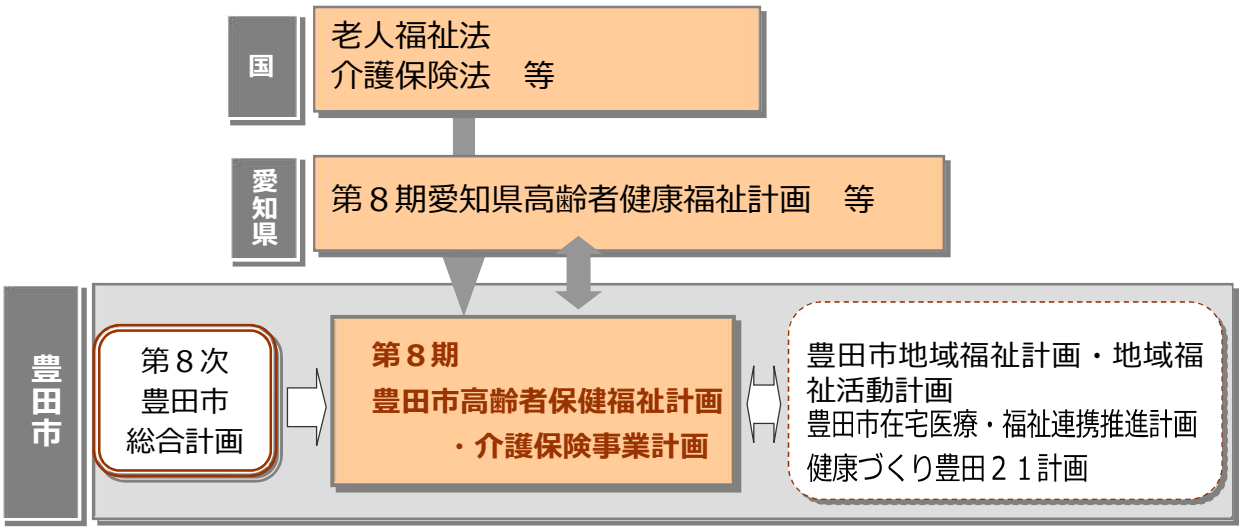
【根拠法】

老人福祉法第 20 条の８の規定に基づく「市町村老人福祉計画」

介護保険法第 117 条の規定に基づく「市町村介護保険事業計画」

【関連計画】

第８期計画は、上位計画である「第８次豊田市総合計画」や市の関連計画、国・愛知県との整合性を図るとともに、第７期計画の成果などを十分検討した上で策定した。



２　計画の対象

豊田市民及び介護保険の被保険者であり、主に 65 歳以上の高齢者

３　計画の期間

2021 年度から 2023 年度（３か年）

４　めざす姿

おもいやりのまち　～ 安心して 自分らしく 生きられる支え合いのまちづくり ～

総合指標①
- 幸せ感が高い高齢者(7点以上)の割合〈2019年基準値：71.9%〉
- 幸せ感が高い要支援者・事業対象者(7点以上)の割合〈2019年基準値：46.6%〉

総合指標②
- 高齢者が安心して暮らすことのできるまちとして満足している市民の割合〈2019年基準値：41.4%〉

5　重点施策

「めざす姿」の実現に向け、重点的に取り組む必要のある事業群を「重点施策」として設定。合わせて各施策の取組状況をはかるため成果指標を設定。

施策名	成果指標	2019 年度基準値
介護予防・健康づくりに通じる社会参加	会・グループへ月１回以上参加している高齢者	60.8%
地域共生を支える体制整備	高齢者の介護や福祉の相談窓口の認知度	46.7%
社会全体で取り組む認知症支援	認知症の人を理解し、協力している市民の割合	9.2%

Ⅱ　取組実績等

1　重点施策

重点施策１　介護予防・健康づくりに通じる社会参加（目標設定数：７）

	事業名 （活動指標と実績）	目標達成状況	主な取組内容等
1	高齢者の生きがいづくり支援 (活動支援箇所総数：52 か所)	104%	・交流館等の活動支援箇所において、高齢者自身のセカンドライフを考えるためのリーフレット「セカンドライフガイドブック」を配布 ・支援箇所における支援に役立てるため、各人に合った活動にマッチングできるシステムを検討
2	SIB を活用した社会参加型介護予防事業の展開 （① 参加者総数：5,756 人 ② 継続者数　：1,886 人）	①144% ②63%	・SIB(ソーシャル・インパクト・ボンド)の手法により、６５歳以上の市内高齢者に対して約５０種類の社会参加型プログラムを展開 ・継続的な事業参加を増やすため、継続参加者が増えた事例等を事業者間で共有
3	集いの場へのコーディネート強化 (ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾄ実施箇所総数：63 箇所)	126%	・地域包括支援センター、交流館等でコーディネートを実施 ・今後は集いの場への参加を促す取組に注力
4	リハビリ専門職との連携 （①専門職の関与による住宅改修点検数：104 件 ②専門職による研修の参加者数：18 人）	①104% ②64%	・リハビリ専門職による住宅改修の点検や地域包括支援センターにおけるリハビリ専門職による研修会を実施 ・研修参加者が減ったものの、地域ケア会議など、研修以外の場での連携ができている。
5	住民主体によるﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ輸送への支援 （ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ輸送検討地域数：5 箇所）	167%	・市内５か所で住民主体のボランティア輸送の仕組づくり及び運営を支援
第８期計画期間中における成果指標の状況（2022 年度調査による） 「会・グループへ月１回以上参加している高齢者の割合」54.1%（基準値：60.8%）			

【総括】・期間中の成果指標の動向では、「月１回以上参加している高齢者」（「週１回以上参加」と「月１回以上参加」の計）の割合が減った。（60.8%→54.1%）このうち、「月１回以上参加」する緩やかな活動層の減（19.8%→14.7%）が全体の割合低下に影響した。これらのポイント低下は新型コロナウイルスのまん延による外出控えの影響が考えられる。

・一方、期間中の事業取組状況では、社会参加の受け皿となる社会参加型事業や集いの場につなぐコーディネート強化等の仕組づくりが着実に実施された。

・第９期計画では、８期計画で創出された事業や仕組を生かす取組を進める必要がある。

重点施策２　地域共生を支える体制整備（目標設定数：４）

	事業名 （活動指標と実績）	目標達成状況	主な取組内容等
1	重層的支援体制の推進 (地域づくり支援件数：166 件)	166%	・福祉の相談窓口や社協コミュニティソーシャルワーカーによる、地域の居場所づくり相談・支援等
2	見守りﾈｯﾄﾜｰｸの強化 （見守りﾎｯﾄﾗｲﾝ協力機関登録件数：2,440 件）	98%	・民間による見守りサービスの情報収集など、ＩＣＴの導入について検討 ・高齢化の進展や担い手不足等に対する課題対応として、引き続き ICT 化を検討
3	介護ｻｰﾋﾞｽ事業所ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ層へのｷｬﾘｱｱｯﾌﾟ支援 (研修の参加者数：18 人)	60%	・介護サービス事業所のリーダー職員を対象としたコミュニケーション力向上のための研修を実施 ・人材育成に係る事業所ごとに異なる困りごとへの対応が必要
4	在宅医療と福祉の連携強化 （「豊田みよしｹｱﾈｯﾄ」加入率：43.9%）	88%	・豊田加茂医師会在宅相談ｽﾃｰｼｮﾝによる在宅医療基盤強化の実施 ・地域医療人材育成センターによる訪問看護師等の育成の実施
第８期計画期間中における成果指標の状況（2022 年度調査による） 「高齢者の介護や福祉の相談窓口（地域包括支援センター）の認知度 」40.9%（基準値：46.7%）			

【総括】・期間中の成果指標の動向では、「高齢者の介護や福祉の相談窓口(地域包括支援センター)の認知度」（「利用したことがある」、「利用したことはないが所在地や連絡先を知っている」の計）の割合が減った（46.7% → 40.9%）。新型コロナウイルスのまん延により、高齢者が集まる機会が減少したことで、地域包括支援センター等の周知の機会も減ったと考えられる。

・期間中の取組については、地域共生を支える仕組の構築が進んだものの、仕組を動かすための介護人材等の専門職に対する支援や医療福祉の連携をさらに進める必要がある。

・第９期計画では、支え合いのネットワークづくりと人材育成を進めていく。

重点施策３　社会全体で取り組む認知症支援（目標設定数：４）

	事業名 （活動指標と実績）	目標達成状況	主な取組内容等
1	認知症サポーターを中心とした支援チームづくり （ステップアップ講座受講者数：230 人）	58%	・認知症サポーターステップアップ講座等を実施
2	認知症の人の社会参加の仕組みづくり （社会参加のﾏｯﾁﾝｸﾞを支援した地域包括支援ｾﾝﾀｰ数：18 箇所）	120%	・地域包括支援センター職員が認知症の人に対し社会参加のマッチングを支援
3	若年性認知症本人・家族会の開催支援 (開催回数：14 回)	117%	・若年性認知症本人とその家族を対象とした本人家族会を開催
4	認知症の早期発見 (ﾁｪｯｸﾘｽﾄの配布数：18,013 部)	113%	・認知症チェックリストを配布 ・デジタルツールを活用した、チェックリストの効率的な配布を検討
第８期計画期間中における成果指標の状況（2022 年度調査による） 「認知症の人を理解し、協力している市民の割合」12.3%（基準値：9.2%）			

【総括】
・期間中の成果指標の動向では、成果指標である「認知症の人を理解し、協力している市民の割合」（全人口に対する「かえるメールとよたの登録者」、「認知症サポーター養成講座受講者」、「認知症サポーターステップアップ講座受講者」の計）の割合が増加（9.2% → 12.3%）。
・期間中の取組としては、認知症の人の社会参加に向けた仕組の構築や本人・家族支援への取組が着実に実施された。
・第９期計画では、同計画に包含する形で、新たに「認知症施策推進計画」を策定。認知症の人やその家族を社会全体で支える施策をさらに推進していく。

２　一般施策の状況（目標設定事業を中心に）

第８期計画期間中に６分野１８施策を展開した。主に目標設定事業について状況を説明する。（詳細は「第８期高齢者保健福祉計画施策一覧」参照）

【Ⅰ 地域共生】
・ ２ 市民参加の支え合い １ 豊田市ささえあいネットの推進　徘徊者捜索機器利用促進補助金（GPS 機器助成）
・ ２ 市民参加の支え合い ２ お元気ですかボランティアの養成及びお元気ですか訪問
・ ４ 重層的な支援 ５ 生活者困窮自立支援 総合相談事業

【Ⅱ 介護予防・健康づくり】
・ １ ふれあい・健康づくり　８ 元気アップ事業の展開

【Ⅳ 介護人材】
・１ 介護に関わる人材支援　３ 外国人材の活用　外国人介護人材に対する学習支援
・１ 介護に関わる人材支援　４ 豊田市訪問看護師育成センター

【Ⅵ 日常生活】
・４ 移動支援　７ 高齢者の交通安全支援　豊田市交通安全学習センター高齢者講習

Ⅲ　第９期計画における主な新規及び拡充事業

1　デジタルデバイド対策事業（高齢福祉課）

高齢者の情報通信機器の利活用に向け、スマートフォン教室等の操作支援を実施し、高齢者の社会参加を側面的に支援する。

現在、関係部署と連携し、操作支援教室の開催場所や講座の内容について検討を進めている。

2　介護人材ベースアップ事業（介護保険課）

介護サービス事業所の人材確保・定着・育成の３つの観点から、現状理解、課題抽出、解決手段の検討を行う研修を実施し、介護人材不足の解消に向けた基礎的な支援を実施。事業者ごとの課題に合わせた支援を実施。

3　認知症伴走型支援事業（高齢福祉課）

認知症の人の家族が抱える日常生活における困りごとに対し、介護サービス事業所が継続的に各種助言を行い、認知症の人とその家族への負担軽減・不安解消を図る。

現在、委託契約の内容について検討を進めており、令和６年１０月頃から事業を実施する予定。

豊田市 Toyota City 主催

令和６年度 豊田市介護人材確保事業

参加費無料

介護人材支援基礎研修
参加者募集のご案内

採用できない

すぐ辞める

どんな支援制度があるの？

人が育たない

こんな悩みありませんか？

豊田市が、課題発見 から 解決 まで お手伝いします！

研修内容

目　的	人材に関する課題を認識し、組織として課題解決の行動に取組む

７月１１日（木）　ＤＡＹ１　人材マネジメントの考え方	
概　要	①人材マネジメントに関する最新情報（新処遇改善加算、賃上げ促進税制等） ②「確保」：採用戦略と採用プロセス ③「定着」：パフォーマンス管理とフィードバック（１ｏｎ１等） ④「育成」：コミュニケーションとモチベーションの向上 ⑤「確保」「定着」「育成」毎に、あるべき姿の設定、現状把握、そのギャップを把握、真因を分析し、事業所固有の課題の明確化

７月１８日（木）　ＤＡＹ２　事業所の課題発見と解決手法の検討	
概　要	①実践事例から課題解決の手段の提示 ②市、県、国等による支援策を知り、社会資源の有効活用 ③優先度の考え方、改善プロジェクトの段取り（チーム編成、スケジュール、役割分担等） ④課題解決に向けたアクションプランの策定

時間：両日とも１０時～１６時　**原則両日ご参加ください**　　場所：豊田市福祉センター

対象：豊田市内の介護サービス事業所の職員（主に経営者や人事責任者等）

募集締切：７月４日（木）　**申込方法は裏面下部をご覧ください**

本研修受講後、**雇用管理改善のプロ**が改善プロジェクトを**伴走支援**します！

職場改善コーディネーター派遣事業

※職場改善コーディネーター派遣事業は豊田市の委託を受け公益財団法人介護労働安定センター愛知支部が実施いたします

雇用管理改善のプロとは？	公益財団法人介護労働安定センター愛知支部が雇用管理改善の支援を委嘱した介護分野の雇用管理・人材育成・助成金等に詳しい専門家（社会保険労務士、コンサルタントなど）です。

参加条件：介護人材支援基礎研修に申込・受講し、職場改善に意欲を持っていること
実施期間：令和６年８月～令和７年１月（予定）
実施内容：コーディネーターが職場を訪問し、事業所の雇用管理改善に関する伴走支援を行います
（人事制度 / 就業規則の見直し / 評価制度の整備 / 助成金の活用 / 賃金体系の整備 / ICTの活用　等）
定員：５事業所（申込多数の場合は総合的な判断のもと市が選定します。）

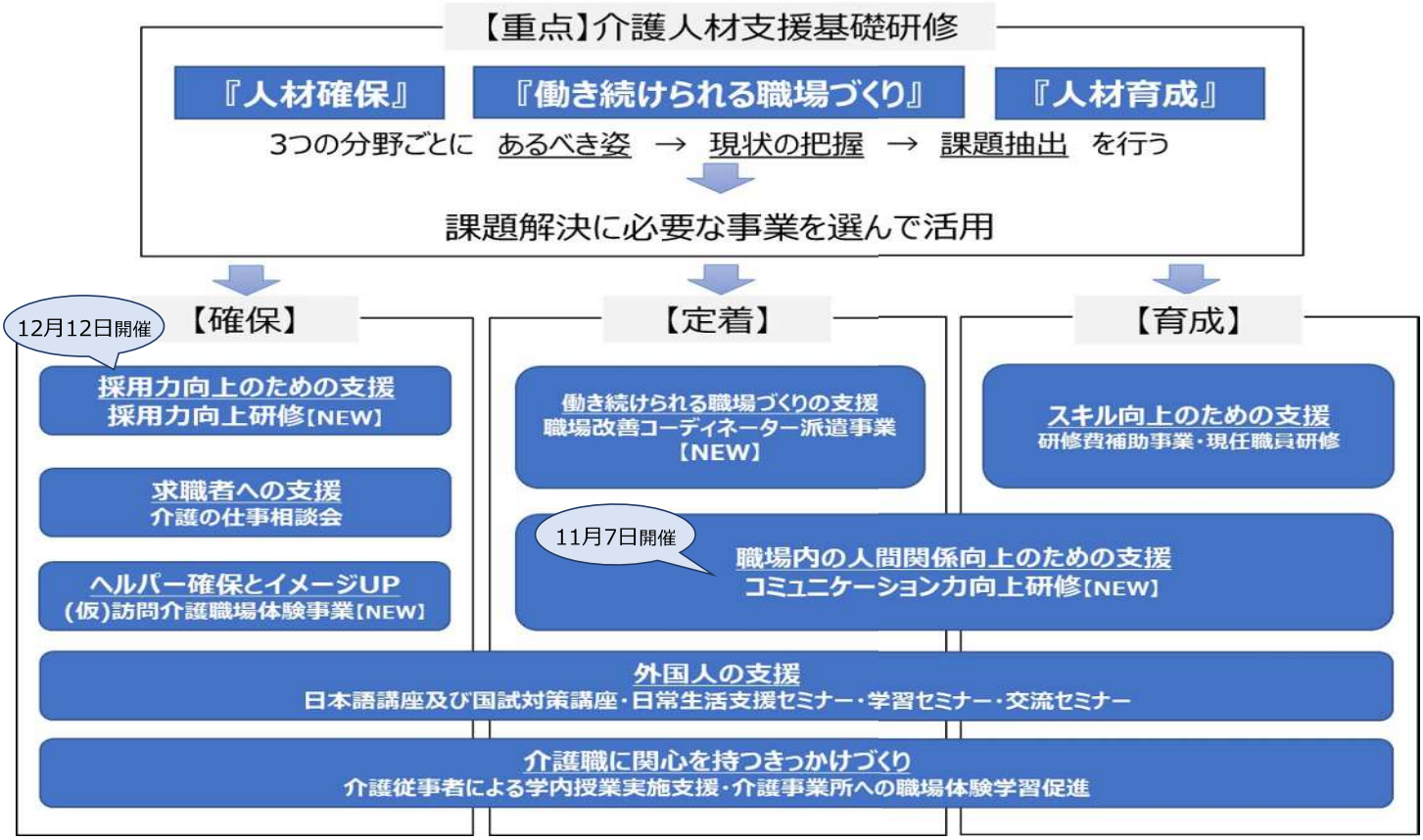
豊田市では上記事業を含め、令和６年度豊田市介護人材確保事業として各種事業を展開しています。
詳細は裏面上部をご覧ください。

本事業は豊田市の委託を受け、セントスタッフ株式会社が運営します。

問合せ先（運営事務局）　セントスタッフ株式会社　教育研修事業課
Tel　03-6803-5624　（受付　平日１０時～１８時）お電話の際は「豊田市の研修の件で！」とお伝えください。
Mail　st_kenshu@home.misawa.co.jp

豊田市ホームページにも掲載中！

令和６年度豊田市介護人材確保事業一覧



申込方法（介護人材支援基礎研修）

電話、メール、FAX、WEBフォームのいずれかより申込

①電　話： 03-6803-5624（セントスタッフ教育研修事業課宛）にお電話ください

②メール： st_kenshu@home.misawa.co.jp　に下記の内容を入力してメールを送信してください

③ＦＡＸ： 下記に必要事項を記入の上、03-6803-5627までＦＡＸしてください

④ＷＥＢフォーム：（申し込みＵＲＬ）または二次元コードより
必要事項を入力してください

ＦＡＸ申込書　　ＦＡＸ送信先：０３－６８０３－５６２７

事業所名 同事業所から最大２名まで参加可能			
受講者氏名①		受講者役職①	
受講者氏名②		受講者役職②	
電話番号		ＦＡＸ番号	
メールアドレス			
事業所住所			

問合せ先（運営事務局）　**セントスタッフ株式会社　教育研修事業課**

TEL：03-6803-5624　（受付　平日１０時～１８時）お電話の際は「豊田市の研修の件で！」とお伝えください。
FAX：03-6803-5627　**Mail：st_kenshu@home.misawa.co.jp**
住所：東京都中央区日本橋茅場町1-8-3 JP茅場町ビル2階

※**職場改善コーディネーター派遣事業**の申込につきましては、介護人材支援基礎研修参加者を対象に、研修内で改めてご案内いたします。

第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画　重点施策一覧						R3(2021)年度		R4(2022)年度		R5(2023)年度			R5実施内容	取組上の課題がある場合の内容と対応策 （対応済の場合も含む）
重点施策		事業名	概要	担当課	活動指標	R3目標	R3実績	R4目標	R4実績	R5目標	R5実績	R5 達成率		
重点施策１ 介護予防・健康づくりに通じる社会参加 【成果指標】 会・グループへ月1回以上参加している高齢者の割合 （2022年度豊田市高齢者等実態調査） **54.1%**	1	高齢者の生きがいづくり支援	高齢者のセカンドライフや活躍事例の情報提供、活動のきっかけづくり	市民活躍支援課	活動支援箇所総数（か所）	28	52	50	52	50	52	104%	2nd LIFE GUIDE BOOKの施設配架及び高齢者に関わるイベント等での配布	・施設での対面による活動支援が主となっており、HP上で活動場所が確認できるなどのデジタル上でも活動支援が求められている。 ・2nd LIFE GUIDE BOOKのセカンドライフチャート部分を生かして、HP上で一人ひとりの高齢者にあった活動内容が診断できるシステム構築を検討。
	2	ＳＩＢを活用した社会参加型介護予防事業の展開	民間の創意工夫による様々な介護予防事業の展開	未来都市推進課	①参加者総数（人）	2,000	1,658	4,000	4,152	4,000	5,756	144%	65歳以上の市内高齢者へ約50種類の社会参加プログラムを提供した。	・新規参加者のさらなる獲得 ・プログラム参加者の割合が低い地域での本事業の体験イベントの実施 ・自宅訪問や高齢者クラブ、自治区等への講師派遣といった出張型プログラムの拡充 ・プログラムを提供する民間事業者と連携した本事業のPR
				未来都市推進課	②継続者総数（人）	-	-	3,000	1,150	3,000	1,886	63%	65歳以上の市内高齢者へ約50種類の社会参加プログラムを提供した。	・継続参加に繋がるよう、事業者間で継続参加の事例を共有するなどし、プログラムの構成や仕組みを工夫する
	3	集いの場へのコーディネート強化	地域包括支援センターや交流館窓口における集いの場へのコーディネート	介護保険課、高齢福祉課、地域包括ケア企画課、健康づくり応援課、市民活躍支援課	コーディネート実施箇所総数（か所）	5	9	25	42	50	63	126%	コーディネート実施箇所の拡大のため、地域包括支援センター及び交流館、生活コーディネート機能を担っているCSWに対し事務フロー伝達の上、コーディネート業務を依頼した。	・集いの場のコーディネートに向け、ソフト・ハードともに相応の体制が整った状況。 ・運用状況の把握に課題。９期以降は、コーディネート数などの把握はもちろん、運用の改善等を検討する。
	4	リハビリ専門職との連携	福祉用具貸与や住宅改修の点検、地域包括支援センター職員への研修	介護保険課	①リハビリ専門職の関与による住宅改修の点検数（件）	100	71	100	87	100	104	104%	リハビリ専門職の関与による住宅改修の点検数集計実施。	ケアマネジャーへのリハビリ専門職関与に関するPR
				高齢福祉課	②リハビリ専門職による研修の参加者数（人）	28	29	28	15	28	18	64%	生活期リハビリでの療法士の役割と連携等について研修会を実施。	・リハビリ専門職による研修をこれまでも継続的に実施できている。 ・研修以外の場（地域ケア個別会議等）でもリハビリ専門職と意見交換をする機会が増えているため、現状に合わせた連携の形を検討する必要がある。
	5	住民主体によるボランティア輸送への支援	住民等の主体によるボランティア輸送	介護保険課 よりそい支援課 高齢福祉課	ボランティア輸送検討地域数（か所）	3	5	3	3	3	5	167%	運営の支援（高美町）及び検討（平山、敷島、水源、堤）	

第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画　重点施策一覧						R3(2021)年度		R4(2022)年度		R5(2023)年度			R5実施内容	取組上の課題がある場合の内容と対応策 （対応済の場合も含む）
重点施策		事業名	概要	担当課	活動指標	R3目標	R3実績	R4目標	R4実績	R5目標	R5実績	R5 達成率		
重点施策２ 地域共生を支える体制整備 【成果指標】 高齢者の介護や福祉の相談窓口の認知度 （2022年度豊田市高齢者等実態調査） **40.9%**	1	重層的支援体制の推進	包括的相談支援、アウトリーチ等を通じた継続的支援、他機関協働、参加支援、地域づくり	よりそい支援課	地域づくり支援件数（件）	100	95	100	92	100	166	166%	・福祉の相談窓口や社協CSWによる相談支援、地域支援の創出。 ・とよた参加支援プロジェクトを活用した参加支援の実施。	
	2	見守りネットワークの強化	見守り情報の一元化、多職種での共有・連携、ICTの活用	高齢福祉課 よりそい支援課	高齢者見守りほっとライン協力機関登録件数（件）	2,400	2,366	2,450	2,418	2,500	2,440	98%	民間見守りサービスの情報収集など、ＩＣＴの導入について検討した。	ＩＣＴツールを活用した見守りは、導入に至っていないため、引き続き検討を進める必要がある。
	3	介護サービス事業所マネジメント層へのキャリアアップ支援	経営者や中核的人材への組織力向上のための研修	介護保険課	キャリアアップ支援研修の参加者数（人）	30	32	30	33	30	18	60%	介護事業所リーダー職員を対象としたコミュニケーション力向上のための研修を2日間実施	人材に関する課題は、事業所によって様々であるため、自職場の現状理解と課題抽出のための介護人材支援基礎研修を令和6年度に実施する。
	4	在宅医療と福祉の連携強化	人材確保・育成、負担軽減、拠点整備、普及啓発、多職種連携	地域包括ケア企画課	多職種連携ＩＣＴ「豊田みよしケアネット」加入率（%）	35	41.3	40	44.4	50	43.9	88%	・豊田加茂医師会在宅相談ステーションによる在宅医療基盤の強化 ・地域医療人材育成センター（豊田地域医療センター）による訪問看護師・総合療法士の育成 ・地域医療人材育成センター（豊田地域医療センター）による歯科衛生士・管理栄養士の育成検討 ・多職種が連携したＡＣＰ（アドバンス・ケア・プランニング）の推進 ・豊田みよしケアネットの普及促進	●人材確保・育成 【課題】 ・在宅療養者の多様なニーズに対応する人材の育成 【対応策】 ・地域医療人材育成センターで育成する人材の整理・検討 ●多職種連携・普及啓発 【課題①】 ・ＡＣＰ（アドバンス・ケア・プランニング）の専門職・市民向け周知 【①の対応策】 ・多職種によるＡＣＰの研修会開催 ・わたしのノート（スタート編）の現場活用 ・出向き講座の開催 【課題②】 ・豊田みよしケアネットの登録・利用促進 【②の対応策】 ・豊田みよしケアネットの勉強会開催
重点施策３ 社会全体で取り組む認知症支援 【成果指標】 認知症の人を理解し、協力している市民の割合 （2022年12月時点の認知症に係る各事業による集計） **12.3%**	1	認知症サポーターを中心とした支援チームづくり	ニーズに対応した支援チームづくり、チーム結成に向けたステップアップ講座	高齢福祉課	ステップアップ講座受講者数（人）	400	142	400	190	400	230	58%	認知症サポーターに向けた、実践的な支援方法や地域の実情について学ぶ機会の提供。	・ステップアップ講座のＰＲを進める。 ・認知症サポーターを中心とした支援チームづくりを推進できるよう、学ぶ機会を提供すると同時に、活躍の場も増やしていく。
	2	認知症の人の社会参加の仕組みづくり	ボランティアや就労等の参加機会の創出	高齢福祉課	社会参加のマッチングを支援した地域包括支援センター数（か所）	5	7	10	19	15	18	120%	地域包括支援センター職員や関係団体を対象とした交流会の実施と認知症の人の社会参加支援のためのワーキングの実施	・引き続き「とよた多世代参加支援プロジェクト」の活動を生かしながら社会参加を推し進める。
	3	若年性認知症本人・家族会の開催支援	若年性認知症の本人や家族の交流する機会の提供	高齢福祉課	開催回数（回）	12	7	12	11	12	14	117%	若年性認知症本人とその家族対象とした本人・家族会を開催	平日開催であったため、就労等で参加できない対象者に考慮して令和６年度から土曜日開催とした。
	4	認知症の早期発見	様々な機会を活用した認知症早期発見の啓発	高齢福祉課	チェックリストの配布数（部）	16,000	19,656	16,000	17,849	16,000	18,013	113%	介護保険被保険者証の交付時、認知症サポーター養成講座受講者への周辺の人への実施勧奨時等におけるチェックリストの配布。	デジタルツールを活用したチェックリストの配布数が少ないため、対応を検討する。

第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画　施策一覧

分野		施策		計画掲載事業名		事業内訳	担当課	指標	目標設定	計画書ページ	R3(2021)年度 目標値(A)	R3(2021)年度 実績(B)	R4(2022)年度 目標値(A)	R4(2022)年度 実績(B)	R5(2023)年度 目標値(A)	R5(2023)年度 実績(B)	R5(2023)年度 達成率 B／A	取組上の課題がある場合の内容と対応策（対応済の場合も含む）
Ⅰ	地域共生	1	市民理解の促進	1	出前講座の展開		介護保険課・地域包括ケア企画課	講座開催数（回）		55	－	11	－	20	―	10	―	
				2	学校教育における高齢者の理解促進		高齢福祉課・介護保険課	授業実施学校数（校）		56	－	8	－	4	－	3	―	業務フロー及び関係所属の役割分担の明確化
				3	認知症サポーターの養成		高齢福祉課	認知症サポーター養成講座受講者数（人）	○	56	3,000	3,449	3,000	2,097	3,000	2,588	86%	受講者数のみに着目せず、認知症サポーターの質の担保と活躍の場の検討が必要（ステップアップ講座を含めた講座の周知など）
				4	認知症に関する普及啓発		高齢福祉課	―		56	－	－	－	－	－	－	―	・情報手段の散在等など、情報発信の非効率化などがある。 ・適切な時期に適切な情報が届くような検討が必要。
		2	市民参加の支え合い	1	豊田市ささえあいネットの推進	高齢者見守りほっとライン	高齢福祉課	高齢者見守りほっとライン協力機関登録件数	○	57	2,400	2,366	2,450	2,418	2,500	2,440	98%	・2,400を超える事業所等の登録があるものの、登録数が停滞している状況がある。 ・集いの場を実施している団体などに対して地域協力機関として登録してもらえるよう勧奨していく。
						みまもりほっとパーキング事業	高齢福祉課	みまもりほっとパーキング事業協力機関登録件数（件）	○	58	650	696	670	738	690	745	108%	
						徘徊高齢者・障がい者等事前登録制度	高齢福祉課	徘徊高齢者・障がい者等事前登録件数（件）		58	－	414	－	462	－	471	―	
						認知症高齢者等個人賠償責任保険	高齢福祉課	―		58	－	－	－	－	－	460	―	
						見守り安心マーク	高齢福祉課	見守り安心マーク利用者数（人）		58	－	79	－	315	－	90	―	シールの仕様（反射、貼り付け対応）上コストがかかるため、別の手法の検討の余地がある。
						かえるメールとよた（緊急メールとよた行方不明者情報）	高齢福祉課	かえるメールとよた登録者数（人）	○	58	9,000	10,964	9,500	11,391	10,000	11,888	119%	コンビニエンスストアなど、高齢者がよく立ち寄る事業所に登録を勧奨するなど、登録数を増加させていく。
						徘徊者捜索機器利用促進補助金（GPS機器助成）	高齢福祉課	徘徊者捜索機器利用促進補助金交付件数（件）	○	58	25	21	25	19	25	10	40%	・補助対象が、「位置情報が主機能のもの」となっているため携帯電話は対象外であるが、一方で、ＧＰＳ機能を有するスマートフォンの保有率は年々高まっている。 ・ＧＰＳを活用した捜索機能の使い方をスマホ教室等で教えるなど、補助事業の代替案を検討する時期に来ている。
						徘徊高齢者捜索模擬訓練	高齢福祉課	徘徊高齢者捜索模擬訓練実施回数（回）		58	－	5	－	2	―	3	―	
						高齢者の住宅防火促進事業を活用した見守り	予防課	―		58	－	－	－	－	―	―	―	
				2	お元気ですかボランティアの養成及びお元気ですか訪問		高齢福祉課	ボランティア新規登録者数（人）	○	59	15	6	15	0	15	0	0%	・新型コロナウイルス感染症の影響で新規の養成講座を一時停止中。再開については慎重に検討する。 ・既存メンバーによる傾聴事業を継続しつつ、当事業以外で行われている傾聴活動や見守り訪問の実態を把握しながら、事業のあり方を検討。
				3	高齢者クラブ友愛活動の促進		市民活躍支援課	高齢者クラブ友愛活動における訪問件数（件）		59	－	183	－	181	―	165	―	
		3	見守りの推進	1	見守りネットワークの強化【重点】		高齢福祉課・よりそい支援課	高齢者見守りほっとライン協力機関登録件数	○	49	2,400	2,366	2,450	2,418	2,500	2,440	98%	
				2	豊田市ささえあいネットの推進【再掲】													
				3	お元気ですかボランティア養成及びお元気ですか訪問【再掲】													
				4	ひとり暮らし高齢者等登録制度の推進		よりそい支援課	ひとり暮らし高齢者等登録制度登録者数（人）		61	－	3,374	－	3,446	―	3,506	―	
				5	福祉電話訪問		高齢福祉課	福祉電話訪問利用者数（人）		61	－	27	－	24	－	20	―	
				6	緊急通報システムの設置		高齢福祉課	緊急通報システム設置件数（件）		61	－	63	－	65	－	63	―	
				1	重層的支援体制の推進【重点】	包括的相談支援事業	よりそい支援課	包括的相談支援事業件数（件）		48	－	備考※	－	5,753	―	6,192	―	※システム改修により、件数の把握はR4年度分から実施
						アウトリーチ等を通じた継続的支援事業	よりそい支援課	アウトリーチ等を通じた継続的支援事業件数（件）		48	－	備考※	－	1,767	―	2,739	―	※システム改修により、件数の把握はR4年度分から実施
						多機関協働事業	よりそい支援課	多機関協働事業件数（件）		48	－	備考※	－	48	―	499	―	※システム改修により、件数の把握はR4年度分から実施
						参加支援事業	よりそい支援課	参加支援事業支援件数（件）		48	－	備考※	－	16	―	152	―	※システム改修により、件数の把握はR4年度分から実施
						地域づくり事業	よりそい支援課	地域づくり支援件数（件）	○	48	100	95	100	92	100	166	166%	

第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画　施策一覧

分野		施策		計画掲載事業名		事業内訳	担当課	指標	目標設定	計画書ページ	R3(2021)年度 目標値(A)	R3(2021)年度 実績(B)	R4(2022)年度 目標値(A)	R4(2022)年度 実績(B)	R5(2023)年度 目標値(A)	R5(2023)年度 実績(B)	R5(2023)年度 達成率 B／A	取組上の課題がある場合の内容と対応策（対応済の場合も含む）
		4	重層的な支援	2	地域包括支援センター	総合相談支援業務	高齢福祉課	－		63	－	－	－	－	－	－	－	
						権利擁護業務	高齢福祉課	権利擁護相談件数（件）		63	－	416	－	496	－	2,039	－	
						包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	高齢福祉課	地域ケア個別会議開催数（回）		63	－	58	－	76	－	52	－	
						第１号介護予防支援事業（介護予防ケアマネジメント）	高齢福祉課	介護予防ケアマネジメント延べ人数（人）		63	－	16,740	－	16,936	－	17,705	－	
						指定介護予防支援事業（要支援者の予防給付のケアマネジメント）	高齢福祉課	予防給付延べ人数（人）		63	－	28,089	－	29,728	－	30,829	－	
				3	基幹型地域包括支援センターの機能強化		高齢福祉課	地域包括研修回数（回）		65	－	29	－	38	－	38	－	
				4	AIを活用した相談・支援		よりそい支援課、情報戦略課	－		65	－	－	－	－	－	－	－	
				5	生活困窮者自立支援	総合相談支援業務	よりそい支援課	自立相談支援機関への相談件数（件）	○	66	5,250	7,205	5,250	8,248	5,250	11,313	215%	
				6	成年後見制度利用支援		よりそい支援課	申立件数（件）		66	－	10	－	25	－	26	－	
				7	成年後見支援センター		よりそい支援課	相談・対応件数（件）		66	－	271	－	259	－	289	－	
				8	共生型サービスの推進		地域包括ケア企画課・障がい福祉課・介護保険課	共生型サービス実施事業所数（か所）	○	67	9	8	10	12	11	7	－	
		5	関係機関との連携	1	在宅医療と福祉の連携強化【重点】		地域包括ケア企画課	多職種連携ICT「豊田みよしケアネット」加入率（%）	○	51	35	41.3	40	44.4	50	43.9	88%	
				2	地域ケア会議等	地域ケア個別会議	高齢福祉課	実施回数（回）		69	－	58	－	76	－	58	－	
						多職種で自立支援を考える会	高齢福祉課	実施回数（回）		69	－	24	－	19	－	19	－	
						地域ケア推進会議	高齢福祉課	実施回数（回）		69	－	2	－	2	－	3	－	
				3	リハビリ専門職との連携【重点】	福祉用具貸与・住宅改修等の点検におけるリハビリ専門職との連携	介護保険課	リハビリ専門職の関与による住宅改修の点検数（件）	○	45	100	71	100	87	100	104	104%	
						地域包括支援センター職員へのリハビリ専門職による研修	高齢福祉課	リハビリ専門職による研修の参加者数（人）	○	45	28	29	28	15	28	18	64%	
Ⅱ	介護予防・健康づくり	1	ふれあい・健康づくり	1	地域資源マップの構築		地域包括ケア企画課、情報戦略課、介護保険課、高齢福祉課	－		70	－	－	－	－	－	－	－	地域資源マップを作成するだけでは社会参加につながらないため、地域資源マップを上手に活用して集いの場にコーディネートする取組を推進する必要がある。
				2	SIBを活用した社会参加型介護予防事業の展開【重点】		未来都市推進課	参加者総数（人）	○	43	2,000	1,658	4,000	4,152	4,000	5,756.0	144%	
							未来都市推進課	継続者総数（人）	○	43	－	－	3,000	1,150	3,000	1,886.0	63%	
				3	集いの場へのコーディネート強化【重点】		介護保険課、高齢福祉課、地域包括ケア企画	コーディネート実施箇所総数（箇所）	○	45	5	9	25	42	50	63	126%	
				4	リハビリ専門職との連携【重点・再掲】										－			
				5	高齢者福祉施設	老人福祉センター (豊寿園)	高齢福祉課	利用者数（人）		71	－	89,409	－	94,975	－	102,197.0	－	高齢者のニーズに合った講座の開催や市の事業との連携により、高齢者の外出先の受け皿となるよう、施設の魅力向上を図る。
						老人福祉センター (百年草)	総務監査課	利用者数（人）		71	－	5,121	－	4,523	－	4,342.0	－	
						老人福祉センター (ぬくもりの里)	総務監査課	利用者数（人）		71	－	10,981	－	12,052	－	11,978.0	－	
						高齢者温泉休養施設(寿楽荘)	高齢福祉課	利用者数（人）		71	－	8,560	－	13,996	－	19,208.0	－	令和４年度に増築した貸切浴場や支援策を活用し集客を図るほか、高齢者の外出の受け皿となるよう、施設の魅力向上を図る。

第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画　施策一覧

分野		施策		計画掲載事業名		事業内訳	担当課	指標	目標設定	計画書ページ	R3(2021)年度 目標値(A)	R3(2021)年度 実績(B)	R4(2022)年度 目標値(A)	R4(2022)年度 実績(B)	R5(2023)年度 目標値(A)	R5(2023)年度 実績(B)	R5(2023)年度 達成率 B／A	取組上の課題がある場合の内容と対応策（対応済の場合も含む）
				6	福祉センター	豊田市福祉センター	総務監査課	利用者数（人）		72	－	122,591	－	135,907	―	152,004.0	―	
						ふくしの里	総務監査課	利用者数（人）		72	－	10,394	－	10,196	―	9,784.0	―	
						まどいの丘	総務監査課	利用者数（人）		72	－	13,732	－	16,140	―	15,980.0	―	
						ふじのさと	総務監査課	利用者数（人）		72	－	9,542	－	9,825	―	10,430.0	―	
						稲武福祉センター	総務監査課	利用者数（人）		72	－	15,854	－	14,634	―	14,077.0	―	
				7	地域ふれあいサロン		社会福祉協議会	実施箇所数（か所）	○	72	295	276	295	268	295	252.0	85%	
				8	元気アップ事業の展開		健康づくり応援課	教室数（か所）	○	73	28	12	28	11	28	10	36%	新型コロナウイルス感染症の影響で、教室開催が延期・縮小となるケースがあった。
				9	地域介護予防活動支援事業の展開		健康づくり応援課	自主活動継続数（か所）		73	－	190	－	199	－	199	―	
							健康づくり応援課	支援グループ数（か所）		73	－	133	－	137	－	151	―	
							健康づくり応援課	交流会参加者数（人）		73	－	－	－	103	－	99	―	
				10	健康づくり豊田21計画（第三次）の推進		健康政策課・健康づくり応援課	―		73	―	－	―	―	―		―	
		2	生きがいづくり・就労支援	1	高齢者の生きがいづくり支援【重点】		市民活躍支援課	活動支援箇所総数（か所）	○	74	28	52	50	52	50	52.0	104%	
				2	高齢者クラブ活動の支援		市民活躍支援課	会員数（人）		74	－	20,433	－	19,145	－	17,514.0	―	
				3	シルバー人材センター		市民活躍支援課	会員数（人）		75	－	2,131	－	2,081	－	2,057.0	―	
							市民活躍支援課	受注件数（件）		75	－	6,596	－	6,329	－	6,150.0	―	
							市民活躍支援課	就業延人数（人）		75	－	155,159	－	147,525	－	143,571.0	―	
				4	とよたシニアアカデミー		とよた市民活動センター	「通年コース」「専門コース」「はじめの一歩講座」受講者数（人）	○	75	328	229	328	321	328	368.0	112%	
				5	子ども食堂を活用した多世代が交流・活躍できる居場所の展開		よりそい支援課	参加者数（人）		76	－	2,833	－	2,956	―	15,438	―	
				6	豊田市版中高年齢者活躍支援モデル事業の展開		産業労働課	セカンドライフ＆キャリア支援事業（エスプレッソ）への参加者数（人）	○	76	50	174	50	349	50	166.0	332%	県モデル事業の終了（令和4年度）に合わせ、事業内容を見直し、令和5年度からは中高年齢者向け就労支援セミナーの実施となった。 これにより、高齢者の就労等多様な機会は減ったが、セミナー内容の見直しや国・県との共催事業に取組むことで機会の確保を図る。
				7	敬老金の贈呈		高齢福祉課	贈呈件数（件）		76	－	4,977	－	5,120	―	5,049.0	―	
Ⅲ	認知症	1	普及啓発・本人発信支援	1	認知症サポーターの養成【再掲】													
				2	認知症に関する普及啓発【再掲】													
				3	認知症の早期発見【重点】		高齢福祉課	チェックリストの配布数（部）	○	54	16,000	19,656	16,000	17,849	16,000	18,013	113%	
				4	認知症本人発信支援		高齢福祉課	認知症本人による発信機会の提供数（回）		78	－	4	－	2	－	3	―	
		2	認知症予防	1	認知症の早期発見【重点・再掲】													
				2	集いの場へのコーディネート強化【重点・再掲】													
				3	リハビリ専門職との連携【重点・再掲】													
		3	認知症本人・介護者への支援	1	認知症地域支援推進員の活躍支援		高齢福祉課	研修受講者数（人）		80	－	27	－	14	－	23	―	
				2	認知症初期集中支援推進事業の展開		高齢福祉課	医療・介護サービスにつながった人の割合（%）	○	81	65	84	65	73	65	80	123%	
				3	認知症カフェの推進		高齢福祉課	設置件数（件）		81	－	20	－	20	－	19	―	
				4	認知症介護家族会の開催		高齢福祉課	開催件数（件）		81	－	11	－	12	－	12	―	

第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画　施策一覧

分野		施策		計画掲載事業名		事業内訳	担当課	指標	目標設定	計画書ページ	R3(2021)年度 目標値(A)	R3(2021)年度 実績(B)	R4(2022)年度 目標値(A)	R4(2022)年度 実績(B)	R5(2023)年度 目標値(A)	R5(2023)年度 実績(B)	R5(2023)年度 達成率 B／A	取組上の課題がある場合の内容と対応策（対応済の場合も含む）
		4	バリアフリーの促進と社会参加	1	豊田市ささえあいネットの推進【再掲】													
				2	見守りネットワークの強化【重点・再掲】													
				3	認知症サポーターを中心とした支援チームづくり【重点】		高齢福祉課	ステップアップ研修受講者数（人）	○	53	400	142	400	190	400	230	58%	
				4	成年後見制度利用支援【再掲】													
				5	若年性認知症本人・家族会の開催支援【重点】		高齢福祉課	開催回数（回）	○	53	12	7	12	11	12	14	117%	
				6	認知症の人の社会参加の仕組みづくり【重点】		高齢福祉課	社会参加のマッチングを支援した地域包括支援セ	○	53	5	7	10	19	15	18	120%	
				7	集いの場へのコーディネート強化【重点・再掲】													
Ⅳ	介護人材	1	介護に関わる人材支援	1	介護サービス事業所マネジメント層へのキャリアアップ支援【重点】		介護保険課	キャリアアップ支援研修の参加者数（回）	○	49	30	32	30	33	30	18	60%	
				2	介護職場環境向上支援		介護保険課	支援する事業所数（か所）	○	85	5	0	5	0	5	0	―	人材の定着には労働条件の改善が効果的というアンケート結果もあり、支援が必要であるため、介護サービス事業所マネジメント層へのキャリアアップ支援内に内容を盛り込み、実施した。
				3	外国人材の活用	都市間連携等による着実な外国人介護人材の受入れ促進	介護保険課	外国人介護人材の受入れ人数（人）		85	－	0	－	10	－	14	―	・バンドン市との協定以外の外国人材が市内に増えてきた。 ・バンドン人材に限らず外国人材の定着を支援するため、R5年度から一部事業で支援の対象を拡大した。
						外国人介護人材に対する学習支援	介護保険課	日本語講座等の受講者数（人）	○	85	24	23	29	21	34	21	62%	・介護福祉士国家試験に合格するためには、一定の日本語能力が必要である。 ・R6年度からは日本語能力に応じた支援を行う。
				4	豊田訪問看護師育成センター【一部再掲】		地域包括ケア企画課	訪問看護師育成数（人）	○	86	20	11	20	16	20	13	65%	・所属事業所等からの離職により、育成センターを途中退講する受講生が居る。 ・センター職員による受講生及び事業所管理者への悩み相談の受付体制強化を図る。
				5	豊田市・藤田医科大学連携地域医療学寄付講座の展開【一部再掲】		地域包括ケア企画課	―		86	－	－	－	―	―	―	―	
				6	介護支援専門員・介護職員の専門スキルの向上		高齢福祉課	介護支援専門員研修への参加人数（人）	○	86	200	288	200	272	200	248	124%	
							介護保険課	現任介護職員研修への参加人数（人）	○	86	120	157	120	83	120	111	93%	
				7	国内人材の創出		介護保険課	介護に関わる人材のすそ野の拡大に資する講座等の参加者数（人）	○	87	100	336	100	256	100	141	141%	20～40代の参加者及び採用決定者が少なかった。若年層への効果的なPRを実施する必要がある。
				8	とよた市民福祉大学		社会福祉協議会	修了者数（人）	○	87	60	53	60	48	60	72	120%	
				9	学校教育における高齢者の理解促進【再掲】													
				10	出前講座の展開【再掲】													
Ⅴ	災害・感染症	1	災害への備え	1	避難行動要支援者名簿を活用した支援体制モデルの展開		よりそい支援課	支援モデル実施数（件）		88	－	4	－	4	―	3	―	
				2	避難行動要支援者に対する防災意識向上策の推進		よりそい支援課	避難行動要支援者名簿同意率（%）		89	－	79	－	80	―	81	―	
				3	福祉事業所の災害体制強化策の推進		よりそい支援課	―		89	－	－	－	1	―	1	―	
				4	ケアプランを活用した災害時個別計画の策定促進		よりそい支援課	研修会等の開催数（回）		89	－	0	－	0	―	0	―	作成者側への負担増となるが、財源支援がないため取組が浸透しにくい
		2	感染症への備え	1	介護サービス事業所への感染症対策啓発・指導		介護保険課	―		90	－	－	－	－	―	―	―	

第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画　施策一覧

分野		施策		計画掲載事業名		事業内訳	担当課	指標	目標設定	計画書ページ	R3(2021)年度 目標値（A）	R3(2021)年度 実績（B）	R4(2022)年度 目標値（A）	R4(2022)年度 実績（B）	R5(2023)年度 目標値（A）	R5(2023)年度 実績（B）	R5(2023)年度 達成率 B／A	取組上の課題がある場合の内容と対応策（対応済の場合も含む）
Ⅵ	日常生活	1	生活支援	1	「食」の自立支援事業の展開		高齢福祉課	延食数（回）		91	－	389,106	－	403,249	―	406,817	―	
							高齢福祉課	実利用者数（人）		91	－	1,580	－	1,599	―	2,487	―	
				2	生活管理指導短期宿泊・緊急短期入所		よりそい支援課	利用日数（日）		92	－	1,152	－	970	―	995	―	
				3	日常生活衛生管理支援	ふれあい収集	清掃業務課	実利用者数（人）		92	－	273	－	298	―	323	―	利用者の増加に対し、事務の効率化及び収集体制の確保が必要
						寝具クリーニング等サービス	介護保険課	実利用者数（人）		92	－	48	－	44	―	43	―	助成対象条件の見直しを行う。
						訪問理美容サービス	高齢福祉課	実利用者数（人）		92	－	118	－	152	―	119	―	
				4	すこやか住宅リフォーム助成		介護保険課	申請件数（件）		92	－	379	－	404	―	521	―	対象者が増加が課題
				5	買い物環境改善事業の展開 ⇒【R4～】山村地域貢献事業応援補助金の展開		商業観光課	事業採択数（件）	○	93	1	0	1	2	1	2	200%	・当該補助事業は令和6年度末をもって終了する。 ・引き続き産業部で買い物弱者支援を行っていくのかを検討する必要がある。
		2	家族介護支援	1	家族介護交流会の開催		高齢福祉課	開催数（回）		94	－	81	－	109	―	101	―	
				2	認知症介護家族会の開催【再掲】													
				3	若年性認知症本人・家族会の開催支援【重点・再掲】													
				4	仕事と介護の両立支援に関する啓発		とよた男女共同参画センター	配布事業所数（事業所）		95	－	3,731	－	3,556	―	0	―	・ガイドブックの記載に変更がない場合、同一のものを毎年送付することが課題である。 ・当センターで開催する、仕事と介護の両立講座等を指標とすることを今後検討したい。
							産業労働課	働き方改革アドバイザー・講師派遣件数（件） ※介護と仕事の両立に係る派遣に限らない		95	－	58	－	51	―	30	－	
							産業労働課	はたらく人がイキイキ輝く事業所表彰応募事業所数（事業所）		95	－	39	－	32	―	19	－	・応募事業所の減少に課題。 ・働ききやすい職場づくり推進事業所確認公表制度による裾野の拡大・SDGs認証制度との連携により対応。
				5	ショートステイの利用支援		介護保険課	―		95	－	201	－	194	―	223	―	
		3	住まいの支援	1	セーフティネット住宅の登録と居住支援		定住促進課	登録件数（件）		96	－	3,102	－	3,294	―	3,378	―	
				2	サービス付き高齢者向け住宅の登録		定住促進課・介護保険課	登録件数（件）		97	－	415	－	415	―	415	―	
				3	有料老人ホームの設置運営への指導		介護保険課・総務監査課	設置件数（件）		97	－	1	－	0	―	6	―	
				4	シルバーハウジング（高齢者世話付住宅）		高齢福祉課・定住促進課	戸数（戸）		98	－	132	－	136	―	136	―	
				5	軽費老人ホーム（ケアハウス）		高齢福祉課	入所者数（人）		98	－	100	－	100	―	100	―	
				6	生活支援ハウス		総務監査課	入居数（人）		99	－	8	－	6	―	7	―	
				7	養護老人ホーム		高齢福祉課・よりそい支援課	入所者数（人）		99	－	50	－	48	―	47	―	

第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画　施策一覧

分野	施策		計画掲載事業名		事業内訳	担当課	指標	目標設定	計画書ページ	R3(2021)年度 目標値(A)	R3(2021)年度 実績(B)	R4(2022)年度 目標値(A)	R4(2022)年度 実績(B)	R5(2023)年度 目標値(A)	R5(2023)年度 実績(B)	R5(2023)年度 達成率 B／A	取組上の課題がある場合の内容と対応策（対応済の場合も含む）
	4	移動支援	1	基幹バス・地域バス・地域タクシー	基幹バス（とよたおいでんバス、名鉄バス）	交通政策課	基幹バス・地域バス利用者数（人／日）	○	101	15,648	12,407	15,986	13,519	16,324	14,375	88%	・目標は未達成だが、基幹バス・地域バスの１日当たり利用者数は１万４千人を突破し、達成率は年々上昇している。 ・利用促進策として、イベントでの公共交通のPRブース出展や企画券の発行を検討する。
					地域バス・地域タクシー	交通政策課・各支所・地域支援課											
			2	ひとり暮らし高齢者等移動費助成		高齢福祉課	交付者数		101	－	3,112	－	3,910	－	3,881	－	
			3	住民主体によるボランティア輸送への支援【重点】		介護保険課・よりそい支援課・高齢福祉課	ボランティア輸送検討地域数（か所）	○	46	3	5	3	3	－	5	－	
			4	たすけあいプロジェクトの推進		交通政策課・未来都市推進課	たすけあいプロジェクト会員数（人）		102	－	足助旭地区４１人 稲武地区４２人	－	足助旭地区 37人 稲武地区 42人	－	足助旭地区 35人 稲武地区 42人	－	・利用者数が減少傾向で制度が形骸化しつつあるため、たすけあいプロジェクト自体のあり方を見直し予定 ・新たな事業の方向性が明確になるまでは事業自体はひとまず継続するが、今後会員数では評価しない見込み
			5	自動車学校のスクールバスを利用した高齢者等交通対策		高齢福祉課	延利用者数（人）		102	－	434	－	廃止	－	廃止	－	
			6	シルバーカー購入費助成		高齢福祉課	助成者数（人）		102	－	248	－	228	－	189	－	
			7	高齢者の交通安全支援	豊田市交通安全学習センター高齢者講習	交通安全防犯課	豊田市交通安全学習センター高齢者講習延参加者数（人）	○	103	4,000	1,071	4,000	1,508	4,000	1,180	30%	・適切な目標数値の設定を検討。第９期計画して修正する。 ・高齢者への交通安全支援は、当該事業のほか７５歳以上の高齢者に対する戸別訪問や自動車教習所における交通安全講習など様々な場所、手法で実施している。
					高齢者交通安全防犯世帯訪問事業	交通安全防犯課	高齢者交通安全防犯世帯訪問事業	○	103	9,000	9,250	9,000	9,192	9,000	9,131	101%	

第8期介護保険事業計画の実績値

【総括】　全体（認定者数、認定率、給付費、被保険者数、保険料収入）を通して、概ね見込んだ通りの事業運営を行うことができた。

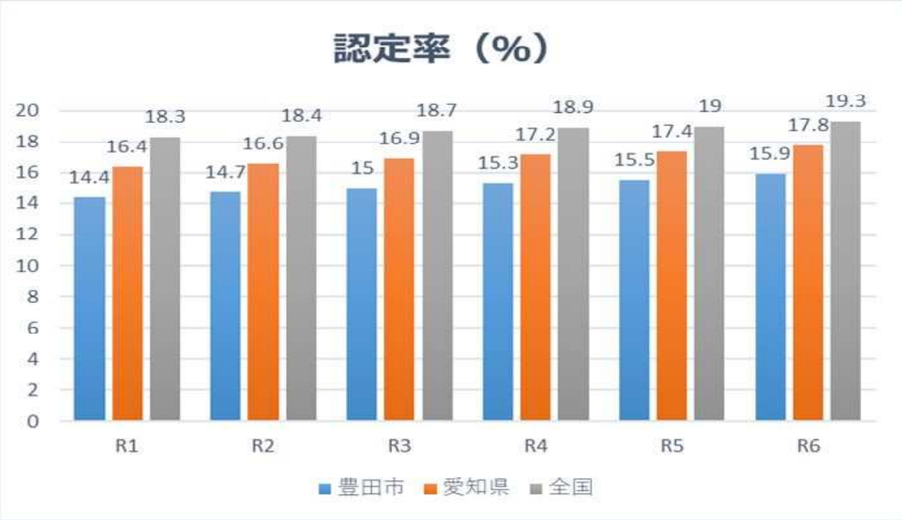
1　認定者数（各年9月末日時点）　（単位：人）

	R3実績	R4実績	R5実績	第8期全体実績	第8期全体見込	実績／見込（%）
要支援１	2,249	2,238	2,241	6,728	7,157	94.0%
要支援２	2,547	2,784	2,935	8,266	7,635	108.3%
要支援認定者数　合計	4,796	5,022	5,176	14,994	14,792	101.4%
要介護１	3,085	3,124	3,230	9,439	9,563	98.7%
要介護２	2,481	2,623	2,734	7,838	7,751	101.1%
要介護３	1,752	1,800	1,838	5,390	5,900	91.4%
要介護４	1,849	1,901	1,931	5,681	5,960	95.3%
要介護５	1,323	1,429	1,394	4,146	4,272	97.1%
要介護認定者数　合計	10,490	10,877	11,127	32,494	33,446	97.2%
認定者数　合計	15,286	15,899	16,303	47,488	48,238	98.4%
認定率（認定者数合計／高齢者人口）	15.28%	15.75%	16.05%	15.70%	15.95%	-
軽度認定率（要支援1～要介護2／高齢者人口）	10.36%	10.67%	10.97%	10.67%	10.62%	-
重度認定率（要介護3～5／高齢者人口）	4.92%	5.08%	5.08%	5.03%	5.33%	-
高齢化率（高齢者人口／総人口）	23.82%	24.14%	24.37%	24.11%	23.84%	-
高齢者人口	100,034	100,919	101,582	302,535	302,403	100.0%
総人口	420,022	418,009	416,880	1,254,911	1,268,728	98.9%

1　認定者数

認定者数は概ね見込み通りであった。

2　国・県と豊田市の認定率の比較（各年3月末日時点（R6のみ２月末日時点））



(出典)厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和4,5年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）

2　国・県と豊田市の認定率（認定者数/第1号被保険者数）の比較　（地域包括ケア「見える化」システムより）

令和元年～令和６年にかけて、いずれも国・県の数値を下回っている。

3　介護保険のサービス量

サービス量の実績は、全体として概ね見込みの通りであった。

但し、介護予防についてはサービス量ベースでは見込比138.4%、給付費ベースでは見込比90.0%となった。見込以上に要支援者がサービス利用をしたものの、見込よりも要支援者一人当たりの利用単価が低かった。

3　介護保険のサービス量

（１）居宅介護（介護予防）サービス

①介護予防サービス

No.	サービス種類	内容	R3実績	R4実績	R5実績	第8期全体実績	第8期全体見込	実績／見込（%）
1	訪問入浴介護	利用回数（回／月）	43	39	38	120	70	171.4%
		利用者数（人／月）	6	9	7	22	15	146.7%
2	訪問看護	利用回数（回／月）	2,162	1,340	1,542	5,044	3,446	146.4%
		利用者数（人／月）	221	270	295	786	741	106.1%
3	訪問リハビリテーション	利用回数（回／月）	697	457	353	1,507	657	229.4%
		利用者数（人／月）	36	47	35	118	81	145.7%
4	居宅療養管理指導	利用者数（人／月）	235	250	233	718	594	120.9%
5	通所リハビリテーション	利用者数（人／月）	339	359	353	1,051	1,244	84.5%
6	短期入所生活介護	利用回数（回／月）	261	260	255	776	1,170	66.3%
		利用者数（人／月）	47	44	45	136	226	60.2%
7	短期入所療養介護	利用回数（回／月）	24	40	62	126	102	123.5%
		利用者数（人／月）	5	6	8	19	21	90.5%
8	福祉用具貸与	利用者数（人／月）	1,828	2,112	2,190	6,130	6,415	95.6%
9	特定福祉用具販売	利用者数（人／月）	41	44	46	131	143	91.6%
10	住宅改修	利用者数（人／月）	35	42	47	124	182	68.1%
11	特定施設入居者生活介護	利用者数（人／月）	45	39	35	119	267	44.6%
12	介護予防支援	利用者数（人／月）	2,093	2,448	2,508	7,049	7,321	96.3%

②介護サービス

No.	サービス種類	内容	R3実績	R4実績	R5実績	第8期全体実績	第8期全体見込	実績／見込（%）
13	訪問介護	利用回数（回／月）	60,520	68,124	70,795	199,439	212,180	94.0%
		利用者数（人／月）	1,714	1,984	2,120	5,818	5,797	100.4%
14	訪問入浴介護	利用回数（回／月）	1,897	1,205	1,249	4,351	3,637	119.6%
		利用者数（人／月）	206	223	211	640	623	102.7%
15	訪問看護	利用回数（回／月）	14,426	10,418	12,506	37,350	29,744	125.6%
		利用者数（人／月）	1,095	1,318	1,339	3,752	3,492	107.4%
16	訪問リハビリテーション	利用回数（回／月）	4,097	2,354	2,332	8,783	6,045	145.3%
		利用者数（人／月）	170	207	208	585	503	116.3%
17	居宅療養管理指導	利用者数（人／月）	2,927	3,528	3,748	10,203	5,522	184.8%
18	通所介護	利用回数（回／月）	25,878	27,712	29,012	82,602	94,233	87.7%
		利用者数（人／月）	2,715	2,941	3,032	8,688	8,829	98.4%
19	通所リハビリテーション	利用回数（回／月）	5,223	5,643	6,171	17,037	19,338	88.1%
		利用者数（人／月）	655	731	779	2,165	2,335	92.7%
20	短期入所生活介護	利用回数（回／月）	7,412	8,110	8,562	24,084	31,416	76.7%
		利用者数（人／月）	815	892	956	2,663	3,064	86.9%
21	短期入所療養介護	利用回数（回／月）	947	1,006	1,267	3,220	4,992	64.5%
		利用者数（人／月）	119	125	159	403	562	71.7%
22	福祉用具貸与	利用者数（人／月）	3,897	4,455	4,660	13,012	12,962	100.4%
23	特定福祉用具販売	利用者数（人／月）	92	88	83	263	298	88.3%
24	住宅改修	利用者数（人／月）	53	55	64	172	218	78.9%
25	特定施設入居者生活介護	利用者数（人／月）	191	224	271	686	944	72.7%
26	居宅介護支援	利用者数（人／月）	5,746	6,545	6,880	19,171	19,761	97.0%

【訪問入浴】
事業所が４→５事業所に増加

【訪問看護】
事業所が２９→３５に増加

【訪問リハビリ】
事業所が４→７に増加

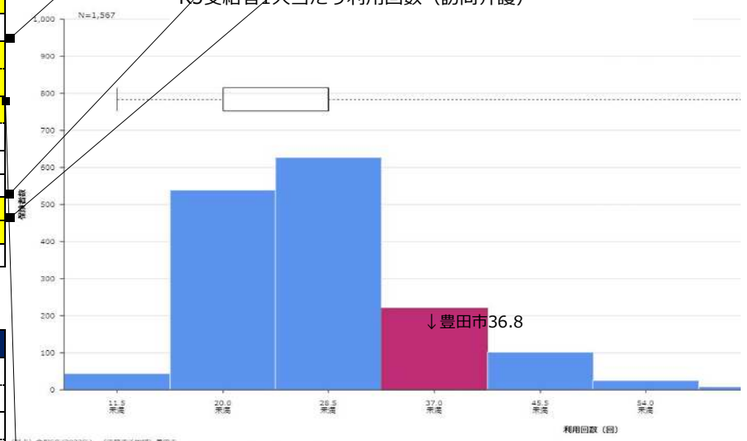
【居宅療養管理指導】
薬局を中心に利用者が増加

【短期入所生活介護】
コロナ禍による利用控えと推察

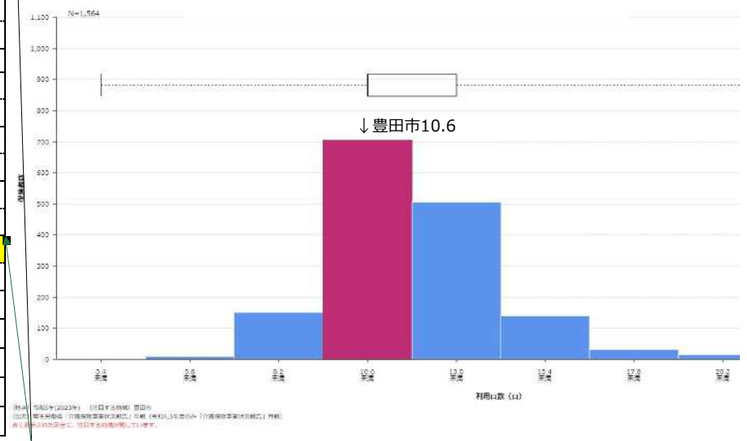
【住宅改修】
コロナ禍による利用控えと家族在宅率の上昇に起因するものと推察

【特定施設入居者生活介護】
整備計画の遅れに起因
（９期計画期間中に整備完了予定）

R5受給者1人当たり利用回数（訪問介護）



R5受給者1人当たり利用回数（通所介護）



【介護ｻｰﾋﾞｽ全体】
介護ｻｰﾋﾞｽ量の傾向は予防介護ｻｰﾋﾞｽ量と同様な傾向を示しており、要因分析は予防介護ｻｰﾋﾞｽと同様であるが、短期入所療養だけは予防介護ｻｰﾋﾞｽと介護ｻｰﾋﾞｽで逆の動きをしている。予防短期入所療養ｻｰﾋﾞｽは元々のｻｰﾋﾞｽ見込が低く利用者が限定的であったためコロナ禍の影響を受けにくかったと推察

（２）地域密着型介護（介護予防）サービス

①地域密着型介護予防サービス

No.	サービス種類	内容	R3実績	R4実績	R5実績	第8期全体実績	第8期全体見込	実績／見込（%）
27	認知症対応型通所介護	利用回数（回／月）	1	4	3	8	0	-
		利用者数（人／月）	1	1	1	3	0	-
28	小規模多機能型居宅介護	利用者数（人／月）	5	5	5	15	35	42.9%
29	認知症対応型共同生活介護（ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ）	利用者数（人／月）	4	4	5	13	24	54.2%

【（予防）認知症対応型通所介護】
要支援1.2の高齢者での利用を見込んでいなかった。
８期計画期間中に認知症対応型共同生活介護事業所の整備に伴う共用型事業所の指定の増加に起因すると推察

【小規模多機能型居宅介護】
コロナ禍による利用控えと推察

②地域密着型介護サービス

No.	サービス種類	内容	R3実績	R4実績	R5実績	第8期全体実績	第8期全体見込	実績／見込（%）
30	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	利用者数（人／月）	23	29	26	78	84	92.9%
31	夜間対応型訪問介護	利用者数（人／月）	0	0	0	0	0	-
32	地域密着型通所介護	利用回数（回／月）	9,309	10,833	11,319	31,461	32,528	96.7%
		利用者数（人／月）	1,070	1,287	1,342	3,699	3,165	116.9%
33	認知症対応型通所介護	利用回数（回／月）	1,918	1,993	1,985	5,896	7,536	78.2%
		利用者数（人／月）	184	191	188	563	625	90.1%
34	小規模多機能型居宅介護	利用者数（人／月）	27	29	27	83	116	71.6%
35	認知症対応型共同生活介護（ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ）	利用者数（人／月）	458	513	513	1,484	1,690	87.8%
36	地域密着型介護特定施設入所者生活介護	利用者数（人／月）	0	0	0	0	0	-
37	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活	利用者数（人／月）	315	358	344	1,017	1,044	97.4%
38	看護小規模多機能型居宅介護	利用者数（人／月）	0	1	5	6	158	3.8%

【認知症対応型共同生活介護】
整備計画の遅れに起因すると推察

【地域密着型通所介護】
機能訓練特化型デイの需要の高まりに起因すると推察

【認知症対応通所介護】
コロナ禍による利用控えと推察

【看護小規模多機能型居宅介護】
計画策定時に相談を受けていた事業者の整備予定量を基にサービス見込を計画したが、見込通りの時期に整備ができなかったため

（３）施設介護サービス

No.	サービス種類	内容	R3実績	R4実績	R5実績	第8期全体実績	第8期全体見込	実績／見込（%）
39	介護老人福祉施設	利用者数（人／月）	1,045	1,155	1,150	3,350	3,237	103.5%
40	介護老人保健施設	利用者数（人／月）	694	778	845	2,317	2,339	99.1%
41	介護医療院	利用者数（人／月）	62	63	66	191	162	117.9%
42	介護療養型医療施設	利用者数（人／月）	3	2	2	7	48	14.6%

【介護療養型医療施設】
制度改正に基づく廃止・転換事業のためサービス量が少ないことに起因すると推察
（豊田市では存在しないサービス、他市施設利用分）

（４）特別給付

No.	サービス種類	内容	R3実績	R4実績	R5実績	第8期全体実績	第8期全体見込	実績／見込（%）
43	おむつ購入費の支給	利用者数（人／月）	3,945	4,151	4,270	12,366	12,156	101.7%

（５）地域支援事業

★介護予防・生活支援サービス事業

No.	サービス種類	内容	R3実績	R4実績	R5実績	第8期全体実績	第8期全体見込	実績／見込（%）
44	介護予防訪問サービス	利用者数（人／月）	480	510	494	1,484	1,410	105.2%
45	生活支援訪問サービス	利用者数（人／月）	95	84	77	256	450	56.9%
46	介護予防通所サービス	利用者数（人／月）	1,732	1,795	1,908	5,435	5,323	102.1%
47	生活支援通所サービス	利用者数（人／月）	398	409	393	1,200	1,500	80.0%

【生活支援訪問サービス】
コロナ禍による利用控えと推察

【生活支援通所サービス】
コロナ禍による利用控えと推察

４　施設整備

一部、第8期において計画された新規整備分が、令和６年度及び令和７年度に整備予定である。

４　施設整備

No.	サービス種類	第7期までの累計	R3実績	R4実績	R5実績	第8期までの累計目標	第8期までの累計
48	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	1,449	0	0	0	1,539	1,449
	広域型	1,101	0	0	0	1,191	1,101
	地域密着型	348	0	0	0	348	348
49	介護老人保健施設	674	0	17	0	691	691
50	介護医療院	63	0	0	0	63	63
51	認知症対応型共同生活介護（ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ）	510	18	0	27	600	555
52	特定施設入居者生活介護	361	0	50	143	711	554

【介護老人福祉施設】
R7年度　９０床竣工予定

【認知症対応型共同生活介護】
R6年度　４５床竣工予定

【特定施設入居者生活介護】
R6年度　６２床竣工予定
R7年度　９４床竣工予定

5　介護保険のサービス給付費

①介護予防給付費

（単位：千円）

No.	サービス種類	R3実績	R4実績	R5実績	第8期全体実績	第8期全体見込	実績／見込（%）
a 介護予防サービス							
1	介護予防訪問入浴介護	3,267	3,811	3,363	10,440	7,390	141.3%
2	介護予防訪問看護	78,244	88,430	98,919	265,593	211,182	125.8%
3	介護予防訪問リハビリテーション	13,056	16,024	12,637	41,716	24,366	171.2%
4	介護予防居宅療養管理指導	18,761	18,531	17,198	54,489	62,554	87.1%
5	介護予防通所リハビリテーション	151,653	149,121	150,882	451,656	504,784	89.5%
6	介護予防短期入所生活介護	24,349	21,118	20,883	66,350	98,825	67.1%
7	介護予防短期入所療養介護	2,929	3,764	4,566	11,259	8,868	127.0%
8	介護予防福祉用具貸与	162,968	176,024	183,576	522,569	526,235	99.3%
9	介護予防特定福祉用具販売	11,265	12,061	14,330	37,656	36,735	102.5%
10	介護予防住宅改修	42,018	52,441	56,734	151,193	242,881	62.3%
11	介護予防特定施設入居者生活介護	47,723	35,669	28,208	111,600	238,941	46.7%
12	介護予防支援	132,373	142,209	145,865	420,447	420,382	100.0%
	介護予防サービス計	688,604	719,204	737,163	2,144,971	2,383,143	90.0%
b 地域密着型介護予防サービス							
13	認知症対応型通所介護	52	486	27	565	0	-
14	小規模多機能型居宅介護	4,349	3,483	4,270	12,102	27,960	43.3%
15	認知症対応型共同生活介護（ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ）	12,375	13,109	16,032	41,516	70,331	59.0%
	地域密着型介護予防サービス計	16,776	17,078	20,329	54,183	98,291	55.1%
	介護予防給付費計	705,380	736,282	757,492	2,199,154	2,481,434	88.6%

②介護給付費

（単位：千円）

No.	サービス種類	R3実績	R4実績	R5実績	第8期全体実績	第8期全体見込	実績／見込（%）
a 居宅サービス							
16	訪問介護	2,031,773	2,245,060	2,291,650	6,568,482	6,589,863	99.7%
17	訪問入浴介護	176,873	172,471	162,183	511,526	534,055	95.8%
18	訪問看護	629,360	685,228	692,432	2,007,020	1,824,077	110.0%
19	訪問リハビリテーション	76,126	85,035	83,661	244,822	215,394	113.7%
20	居宅療養管理指導	241,093	266,569	293,802	801,464	699,212	114.6%
21	通所介護	2,692,448	2,660,905	2,798,730	8,152,082	9,046,125	90.1%
22	通所リハビリテーション	606,369	606,274	679,306	1,891,950	2,041,184	92.7%
23	短期入所生活介護	865,765	862,892	909,027	2,637,684	3,196,753	82.5%
24	短期入所療養介護	132,403	133,230	141,157	406,790	607,859	66.9%
25	福祉用具貸与	681,005	727,205	760,871	2,169,081	2,144,602	101.1%
26	特定福祉用具販売	28,753	28,321	29,563	86,637	89,363	96.9%
27	住宅改修	63,244	62,651	74,164	200,059	285,002	70.2%
28	特定施設入居者生活介護	508,076	544,204	640,917	1,693,197	2,248,649	75.3%
29	居宅介護支援	1,157,285	1,194,040	1,236,512	3,587,836	3,539,191	101.4%
	居宅サービス合計	9,890,572	10,274,085	10,793,973	30,958,630	33,061,329	93.6%
b 地域密着型サービス							
30	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	47,669	48,844	41,456	137,969	230,873	59.8%
31	夜間対応型訪問介護	0	0	0	0	0	-
32	地域密着型通所介護	996,381	1,030,274	1,117,583	3,144,238	3,227,543	97.4%
33	認知症対応型通所介護	276,289	253,887	267,468	797,644	957,499	83.3%
34	小規模多機能型居宅介護	68,436	73,554	68,435	210,425	235,283	89.4%
35	認知症対応型共同生活介護（ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ）	1,561,263	1,590,118	1,635,746	4,787,127	5,373,853	89.1%
36	地域密着型介護特定施設入所者生活介護	0	0	0	0	0	-
37	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	1,213,985	1,229,736	1,258,713	3,702,433	3,652,917	101.4%
38	看護小規模多機能型居宅介護	0	2,428	16,815	19,243	357,146	5.4%
	地域密着型サービス合計	4,164,024	4,228,841	4,406,215	12,799,080	14,035,114	91.2%
c 施設サービス							
39	介護老人福祉施設	3,723,936	3,810,680	3,838,152	11,372,768	11,161,854	101.9%
40	介護老人保健施設	2,589,367	2,651,216	2,735,084	7,975,668	8,451,538	94.4%
41	介護医療院	322,374	287,977	304,044	914,394	806,791	113.3%
42	介護療養型医療施設	16,474	9,091	9,106	34,671	206,365	16.8%
	施設サービス合計	6,652,150	6,758,964	6,886,386	20,297,500	20,626,548	98.4%
	介護給付費計	20,706,746	21,261,890	22,086,574	64,055,210	67,722,991	94.6%

5　介護保険のサービス給付費

概ね見込みの通りであった。

特に、介護予防サービス、居宅サービスにおける訪問看護、訪問リハビリ、居宅療養管理指導といった医療系訪問サービス等で見込みを超えた結果となった。

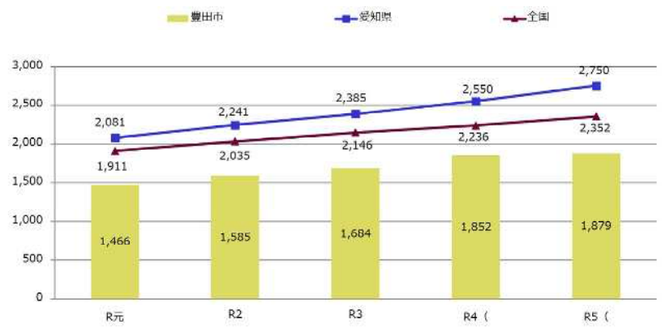
【介護保険のサービス給付費】
給付費の“実績／見込”における各サービスの乖離はサービス量の見込と概ね同様の動きであった。
但し、地域密着型サービスの“定期巡回・随時対応型訪問介護看護”についてはサービス量の見込は概ね正しかったが、給付費は59.8%と大きく乖離。見込よりも利用者の介護度等が低かった等見込よりも軽度の要介護者が利用したと推察

（地域包括ケア「見える化」システムより）

第1号被保険者1人あたり給付月額を訪問介護と通所介護を比較すると、通所介護が全国値並みであるのに対し、訪問介護は全国値及び愛知県値を下回っている。

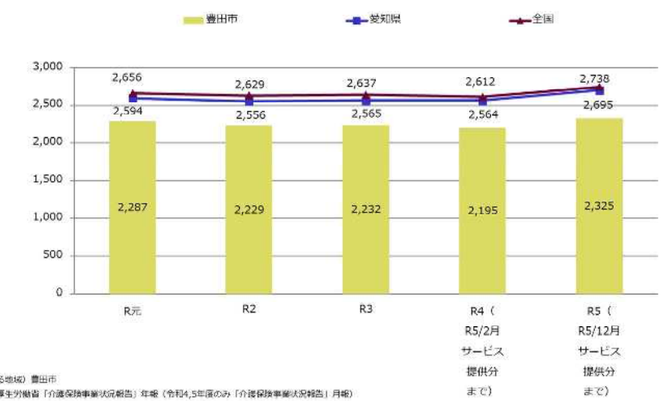
訪問介護は、全国と比較すると利用回数は多く給付額は少ないため、少額のサービスが多頻度で使われていると推測される。

第１号被保険者１人あたり給付月額（訪問介護）（豊田市）



（注目する地域）豊田市
（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和4,5年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）

第１号被保険者１人あたり給付月額（通所介護）（豊田市）



（注目する地域）豊田市
（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和4,5年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）

★特別給付費（おむつ購入費の支給）　（単位：千円）

No.	サービス種類	R3実績	R4実績	R5実績	第8期全体実績	第8期全体見込	実績／見込（%）
43	特別給付費	118,439	123,414	129,150	371,003	370,264	100.2%

★その他サービス事業費　（単位：千円）

No.	サービス種類	R3実績	R4実績	R5実績	第8期全体実績	第8期全体見込	実績／見込（%）
44	特定入所者介護サービス費の支給	418,368	338,442	324,230	1,081,040	1,262,087	85.7%
45	高額介護サービス費の支給	550,011	541,651	573,932	1,665,594	1,721,890	96.7%
46	高額医療合算介護サービス費の支給	78,061	80,419	89,703	248,183	267,374	92.8%
	その他計	1,046,440	960,512	987,865	2,994,817	3,251,351	92.1%

★給付費合計　（単位：千円）

No.	サービス種類	R3実績	R4実績	R5実績	第8期全体実績	第8期全体見込	実績／見込（%）
47	介護予防給付費計	705,380	736,281	757,492	2,199,153	2,481,434	88.6%
48	介護給付費計	20,706,746	21,261,890	22,086,574	64,055,210	67,722,991	94.6%
49	その他サービス事業費用計	1,046,440	960,512	987,865	2,994,817	3,251,351	92.1%
50	審査支払手数料	13,090	13,655	14,148	40,893	39,982	102.3%
	給付費合計	22,471,656	22,972,338	23,846,078	69,290,073	73,495,758	94.3%

★地域支援事業費合計　（単位：千円）

No.	サービス種類	R3実績	R4実績	R5実績	第8期全体実績	第8期全体見込	実績／見込（%）
53	介護予防事業費・総合事業費	813,605	850,081	896,225	2,559,911	3,031,510	84.4%
54	包括的支援事業・任意事業費	639,969	648,776	654,516	1,943,261	1,941,601	100.1%
55	包括的支援事業（社会保障充実分）	208,079	208,079	208,079	624,237	640,237	97.5%
	地域支援事業費合計	1,661,653	1,706,936	1,758,820	5,127,409	5,613,348	91.3%

6　所得段階別被保険者数　（各年10月1日時点）　（単位：人）

サービス種類	R3実績	R4実績	R5実績	第8期全体実績	第8期全体見込	実績／見込（%）
第１段階（基準額×0.30）	8,821	8,933	9,023	26,777	27,556	97.2%
第２段階（基準額×0.50）	5,651	5,989	6,253	17,893	16,503	108.4%
第３段階（基準額×0.70）	5,022	5,325	5,451	15,798	15,167	104.2%
第４段階（基準額×0.85）	13,906	13,509	13,211	40,626	43,584	93.2%
第５段階（基準額×1.00）⇒基準額	17,648	17,846	17,932	53,426	52,481	101.8%
第６段階（基準額×1.10）	13,651	13,710	13,878	41,239	41,370	99.7%
第７段階（基準額×1.25）	15,028	15,124	15,234	45,386	45,325	100.1%
第８段階（基準額×1.50）	11,652	11,538	11,589	34,779	34,517	100.8%
第９段階（基準額×1.75）	3,419	3,456	3,551	10,426	10,313	101.1%
第10段階（基準額×2.00）	1,593	1,606	1,604	4,803	4,550	105.6%
第11段階（基準額×2.10）	1,479	1,562	1,512	4,553	4,194	108.6%
第12段階（基準額×2.25）	882	1,022	966	2,870	2,794	102.7%
第13段階（基準額×2.50）	1,296	1,322	1,408	4,026	4,049	99.4%
被保険者数合計	100,048	100,942	101,612	302,602	302,403	100.1%

6　所得段階別被保険者数

ほぼ見込みの通りであった。

7　介護保険料収納必要額　（単位：千円）

	R3実績	R4実績	R5実績	第8期全体実績	第8期全体見込	実績／見込（%）
介護保険料収納必要額	6,827,049	6,853,759	7,227,071	20,907,879	22,391,723	93.4%

8　介護給付費準備基金の取崩・積立　（単位：千円）

	R3実績	R4実績	R5実績
年度初基金残高	2,456,622	3,559,244	4,002,194
基金取崩額	0	0	0
基金積立額	1,102,622	442,950	229,346
基金増減額（積立額－取崩額）	1,102,622	442,950	229,346
年度末基金残高（年度初残高＋増減額）	3,559,244	4,002,194	4,231,540

9　効果的な介護保険事業運営に向けて

（１）より利用しやすいサービスとするために【計画書Ｐ１３６参照】

事業内容	R3取組内容	R4取組内容	R5取組内容
介護サービスに関する多様な情報提供	ガイドブック、ホームページ等を通じ、介護保険サービス等に関する情報提供を実施した。	ガイドブック、ホームページ等を通じ、介護保険サービス等に関する情報提供を実施した。	ガイドブック、ホームページ等を通じ、介護保険サービス等に関する情報提供を実施
ＩＣＴを活用した介護認定審査期間の短縮	介護認定審査会をWEB会議方式で参加できる運用を確立し、６割以上の委員がWEB会議で参加。	WEB会議参加者は８割となり、さらに審査会資料をペーパレス化したことで、郵送に係る時間を短縮し、認定結果まで１日短縮。	ペーパーレス資料使用の参加者は８割以上となり、紙削減及び発送事務時間の削減ができた。
介護サービス相談員派遣事業	派遣事業所数：177	派遣事業所数：142	派遣事業所数：146

（２）安心して生活するために【計画書P137参照】

★低所得者等への支援

事業内容	概要	R3取組内容	R4取組内容	R5取組内容
①低所得者利用支援事業	訪問介護等の利用に対し、自己負担額の2割を助成	914件	944件	938件
②受領委任制度	サービス利用時に1～3割の自己負担額のみで利用できる制度	住宅改修：889件 福祉用具購入：1.605件	住宅改修：938件 福祉用具購入：1,539件	住宅改修：1,083件 福祉用具購入：1,500件
③社会福祉法人等による利用者負担軽減事業	社会福祉法人等によるサービスの利用時に負担額を軽減	39人	46人	45人
④介護保険料・利用者負担額の減免	介護保険料及び利用者負担額の減免	保険料：57件 利用者負担額：2件	保険料：52件 利用者負担額：1件	保険料：34件 利用者負担額：1件

（３）適切な事業運営に向けて【計画書P138参照】

★介護給付適正化

指標		概要	R3実績	R4実績	R5実績	第8期全体実績	第8期全体目標	実績／目標（%）
①要介護認定の適正化（%）		認定調査票の点検・確認、審査委員への研修の実施等	100	100	100	-	-	-
②ケアプランチェックの実施事業所数（件）		利用者の居宅サービス計画書の確認	14	50	17	81	60	135%
③住宅改修等実績確認割合（%）	住宅改修	住宅改修等の工事内容の確認	17	17	16	-	-	-
	福祉用具		17	16	16	-	-	-
④医療情報	突合月数（月）	介護保険と医療保険給付の重複受給等の確認	12	12	12	36	36	100%
	縦覧点検（種類）		5	5	5	15	15	100%
	縦覧点検（月）		12	12	12	36	36	100%
⑤介護給付費通知（月）		利用者への実績の通知	12	12	12	36	36	100%

★介護サービス事業所への指導

指標	概要	R3実績	R4実績	R5実績	各年度目標
事業所への指導等実施率（%）	介護サービス事業所への実地指導の実施	16%	24%	24%	20%

★短期集中リハビリの実施

指標	概要	R3実績	R4実績	R5実績	第8期全体実績	第8期全体目標	実績／目標（%）
短期集中リハビリ事業所数	要介護認定のない高齢者への早期リハビリ	0	0	1	1	12	8%
短期集中リハビリ利用者数		0	0	3	3	240	1%

R5年度から地域限定（1か所）で試行的に実施。
R6年度以降、試行地域を拡大予定